

---

2019年5月8日（水）発行

---

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol. 50

---

株式会社スリー・シー・コンサルティング

---

- 1 会計ニュースダイジェスト（2019年4月）
- 2 会計基準の公表予定等
- 3 ワンポイント開示会計問題演習「附属明細表」
- 4 児玉厚の開示川柳「予測主義 決算予想も AI化？」
- 5 編集後記

- 
- 1 会計ニュースダイジェスト（2019年4月）
- 

- 1) 企業結合会計基準改正を踏まえ財規等改正（4月26日）  
（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則及び連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則の一部を改正する内閣府令（内閣府令第27号））

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20190426.html>

- 2) 2018年12月31日までのIFRSを新たに指定（4月26日）  
（金融庁告示第30号）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20190426.html>

- 3) 金融庁・東証、ステュワードシップ・コード及び  
コーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議の意見書  
「第4弾」を公表（4月24日）  
（コーポレートガバナンス改革の更なる推進に向けた検討の方向性）

（金融庁）

<https://www.fsa.go.jp/news/30/singi/20190424.html>

（東証）

<https://www.jpx.co.jp/news/1020/20190424-01.html>

- 4) ASBJ、企業結合会計基準等を訂正（4月22日）

<https://www.asb.or.jp/jp/documents/60608.html>

5) 東証、2019年3月期定時株主総会の傾向を公表(4月22日)

<https://www.jpx.co.jp/news/1021/20190422-02.html>

6) ガバナンス・監査関連で開示府令等改正案公表(4月19日)  
(意見募集期限:2019年5月20日)

<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20190419.html>

7) 監査役協会、有報「監査役監査の状況」の記載に関するガイダンスを公表  
(4月16日)

<http://www.kansa.or.jp/news/briefing/post-454.html>

8) 株懇、改元関連で招集通知・事業報告モデル等を改正(4月8日)

<http://www.kabukon.net/new/index.html>

---

## 2 会計基準の公表予定等

---

・先月公表された基準等については上記「会計ニュースダイジェスト」をご覧ください。

1) IFRS(2019年6月までの公表予定)  
(無印:確定 ED:公開草案 DP:ディスカッションペーパー  
PS:プロジェクト概要 FS:フィードバック文書)

(1) メンテナンスプロジェクト

- ・IFRS第17号「保険契約」修正:ED 2019年6月予定
- ・単一取引から生じる資産及び負債に関連した繰延税金(IAS第12号改正)  
:ED 2019年6月予定
- ・認識の中止のための「10%テスト」に伴う報酬(IFRS第9号改正)  
:ED 2019年6月予定
- ・銀行間取引金利改革及び財務報告への影響:ED 2019年5月済
- ・リースインセンティブ(IFRS第16号設例13改正):ED 2019年6月予定
- ・初度適用者としての子会社(IFRS第1号改正):ED 2019年6月予定
- ・公正価値測定における課税(IAS第41号改正):ED 2019年6月予定
- ・概念フレームワークへの参照の更新(IFRS第3号改正)  
:ED 2019年6月予定

・ ワークプラン

<https://www.ifrs.org/projects/work-plan/>

・ IASB Update

<https://www.ifrs.org/news-and-events/updates/iasb-updates/>

## 2) 日本基準

### (1) 公正価値測定ガイダンス等：2019年6月予定

・ 現在開発中の会計基準に関する今後の計画（更新：2019年4月15日）

<https://www.asb.or.jp/jp/project/plan.html>

---

## 3 ワンポイント開示会計問題演習

---

\*メルマガ読者にのみ公開しています。

---

## 4 児玉厚の開示川柳

---

\*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による  
「開示川柳」をお届けしております。

「 予測主義 決算予想も AI 化？ 」

AI 化の主たる活用目的は需要予測である。

投資家が株式を売る、買う、維持し続けるという経済的意思決定を行う重要な  
開示情報として決算短信や有価証券報告書がある。

3月決算の場合は、今年は10連休後に決算短信が公表されるだろう。

有価証券報告書は6月の総会後になる。

また、業績予想の売上高が10%以上、各利益が30%以上ブレる場合には、  
速やかに理由を含めて修正発表しなければならないが、中堅以下の上場会社の  
多くは決算中に業績修正発表をしている。

もし、AIで早いタイミングで決算予想ランキングされるとしたら、  
その情報により株価が形成されてしまうのではないだろうか？

\*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

---

## 5 編集後記

---

\*メルマガ読者にのみ公開しています。

---

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング  
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階  
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

---

Copyright (c) Three C Consulting Co.,Ltd. All Rights Reserved.